

平成 21 年度 理事会、新春交歓会、事務局長会議

会員協会の新年会や新年の行事が落ち着き始める、2月上旬にANIAでは新春交歓会を行っています。今年は2月4日(木)に霞が関ビルにある東海大学校友会館で行いました。新春交歓会の前には理事会も行われ、次年度の活動方針などが話し合われ、翌日の事務局長連絡会議では具体的な実現方法などについて議論いたしました。

(1) 2月4日 16:00~17:45 第4回理事会

厳しい経済状況の中、会員にとって役に立つ活動をするのがANIAに求められており、次年度はより具体的な活動をテーマに来年度の活動方針を議論しました。

昨今は電機、自動車産業に見られるように買い替え需要を促進させるため、エコポイントや補助金など様々な制度が作られ、業界を下支えしています。反面、情報処理産業においては企業の設備投資が抑えられていることもあり、新規の開発はもとよりバージョンアップすらされない状況です。自動車もテレビも部品を買ってきて組み立てれば誰でも新規参入できるような時代になりつつある現在、ソフトウェア(プログラム)による差別化が企業の生き残りを左右する時代になっています。日本の未来を担う情報処理産業(地方・中小)がこれ以上疲弊しないためにも、下支えとなる制度が必要であると意見が一致し、来年度の主な活動方針とすることとしました。

また、済州知識産業振興院とのMOU締結が承認され、担当理事が内容、日程などを調整することになりました。



会長挨拶

(2) 2月4日 18:00~19:30: 新春交歓会(東京サテライト交流会併催)

毎年、この時期に日頃ご指導を賜っている行政機関の方々、友好諸団体や会員同士の交流を目的に新春交歓会と東京サテライト交流会を開催しています。

東京サテライト交流会とは主に東京に出先にある会員企業同士が、お互いの活動状況やプロダクツなどを紹介し合い、今後のビジネスに発展させるのが目的です。今年も交歓会場に各社の展示スペースを設け、飲食をしながらの和やかな雰囲気の中、自社製品の紹介や展示内容の質問が飛び交い、活発な情報交換が行われていました。また、会場前方では各社によるプレゼンテーションも行いました。

例年、当日不参加になる方が多く、事務局としては頭を悩ますのですが、今年は当日参加の方が多く、直前での料理追加などうれしい誤算でした。他団体の方にもお聞きしましたが、今年は当日参加が多く、料理の読みが外れたというお話を伺いました。これも景気と何か関連があるのでしょうか？厳しい時だからこそ、人と人との繋がりが重要なのでしょうか。



新春交歓会



東京サテライト交流会

(3) 2月5日 10:00~12:30 第3回事務局長連絡会議

新春交歓会のために全国から各都道府県協会の事務局長が集まっていますので、5日に東京:新橋において今年度3回目の事務局長連絡会議を開催いたしました。

各協会からの現状報告や質疑応答など活発な意見交換が行われました。



事務局長連絡会議

(ANIA 事務局 武田雅哉)